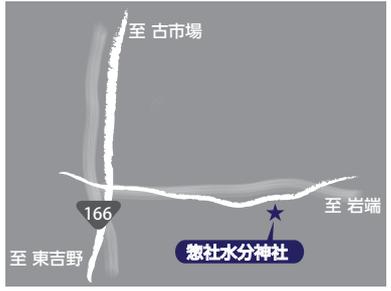


# 惣社水分神社

(菟田野上芳野)



大和朝廷時代、宇陀地方の水の守り神として、淀川の源流である芳野川に創祀された宇陀水分神社（芳野・古市場・下井足）の上の宮として、崇敬されています。

毎年10月に催されるうだの秋祭りは、惣社水分神社の女神（速秋津姫神）と宇太水分社の男神（速秋津比古神）が年に一度だけ会える日といわれており、女神は鳳輦神輿（ほうれんみこし）に乗って、毛槍、花籠などを従えて往復約12キロの道のりをお渡りします。

昨年建てられた境内の宝物庫には、この鳳輦神輿をはじめ、お面や狛犬などの宝物が収蔵されており、事前申し込みで特別に拝観することもできます。

### ▶鳳輦神輿（重要文化財）

鳳輦神輿とは、屋形の上に鳳凰をつけた神輿で天皇の乗物の美称とされています。南北朝（今から650年近く前）の頃に建造された黒漆金銅装神輿であり、保存がよく建造当時の姿を残しており、昭和31年に重要文化財に指定されました。



## Welcome to UDA!

# アメリカからようこそ日本の故郷へ!



6月29日～7月2日の4日間、アメリカから13名の方が宇陀市を訪問されました。

これは、日米の市民の交流・相互理解を目的に日本とアメリカで毎年交互に開催されている「草の根交流サミット大会」が今年は奈良県で開催されたことによるものです。109名のアメリカの方が奈良市にいられた後、宇陀市を含む奈良県の各市町村でのホームステイを通じ、地域の人々と交流されました。

宇陀市では、市長表敬訪問の他、カエデの郷ひららで着物、お茶、折り紙体験、ふるさと元気村での切り絵体験、榛原蓮昇寺での座禅体験など、宇陀市各地で様々な日本らしい、宇陀らしい体験をされました。

期間中は室生国際交流村の人々がホストファミリーとなって、彼らを自宅に招いてくれました。みなさん、この交流を通して、日本の生活や家族とのふれあいを楽しまれたようです。



- ▲奈良カエデの郷ひらら（菟田野古市場）では、折り紙や茶道、七夕飾りなどの「The 日本文化」を堪能
- ▲蓮昇寺（榛原池上）では座禅体験
- ▲ふるさと元気村（室生下田口）では、切り絵にチャレンジ